

家族で災害が起きたときについて話し合しましょう



災害が起きたときに家族の安全を確認する方法などを話し合しましょう。

災害が起きたときに家族がすることを決める

火を消す係、逃げるときに持っていくものを用意する係、逃げるための通路をあける係を決めましょう。

家族との連絡の方法

災害用伝言ダイヤル LINE facebookを使って災害が起きたときにいる場所を伝える方法を考えましょう。

避難所や逃げるための道を確認しましょう

自分の家や学校や働いているところから避難所に行くまでの安全な道を確認して、災害が起きたときに家族が集まる場所を決めましょう。

家の被害を少なくする

風や水の災害から家を守るためにふだんから家のどこかが壊れていないかなど気をつけて見るようにしてください。

外壁

- モルタルの壁にひびはありませんか

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など落ちてくるものはありますか

ブロックの塀

- 傾いていたりひびがあったりしませんか

排水溝

- ごみや土などはありますか

屋根・雨どい

- 安定していないアンテナはありませんか
- トタンがめくれていませんか
- 瓦にひび・割れはありますか
- 雨どいにごみや葉っぱはたまっていますか

窓

- 窓枠は固定されていますか
- 雨戸は固定されていますか

板の塀

- 板の塀に腐りや浮きはありますか
- 板の塀に支柱はありますか

その他

- ガスボンベは固定していますか
- お店などでは看板は固定されていますか
- ごみ箱や植木鉢などは飛ばないように固定していますか
- 庭木には添え木をしていますか
- 窓ガラスが割れて飛んでいかないようにしていますか

災害のときに持っていくものと家においておくものを用意

逃げるときに持っていくもの

逃げるときに持っていくものを用意しておいてください。リュックサック(背中で持つかばん)などにに入れていつでも持っていけるところに置いてください。

食べもの

- 飲み水
- 非常食(アルファ化米、缶詰、乾パンなど)
- 携帯食(チョコレート、キャンディなど)

救急・安全対策

- 救急医療品(ばんそうこう、包帯、ガーゼ、傷薬、消毒薬、目薬など)
- 普段飲む薬(胃腸薬、かぜ薬、鎮痛薬)
- 持病(長く治らない病気)がある人の薬、お薬手帳(飲んだお薬が書いてある手帳)
- ヘルメット
- ホイッスル(笛)
- 体温計、マスク、アルコール消毒液

貴重品

- お金(小銭も用意する)
- 預金通帳、印鑑
- 運転免許証、健康保険証のコピー
- クレジットカードなど

衣類など

- 服(厚いものや着替え)
- 下着など
- 軍手
- タオル、洗面用具
- 雨具(傘など)

日用品など

- 携帯トイレ(トイレが使えないときに役立つ)
- ティッシュペーパー、ウェットティッシュ
- ビニール袋
- ライター、マッチ
- ナイフ、缶切り
- 懐中電灯(代わりの電池や電球も)
- 携帯ラジオ(代わりの電池も)

日用品など

- 携帯電話の充電器、バッテリー
- 筆記用具(油性マジック)
- 新聞紙
- ロープ、布ガムテープ
- 使い捨てカイロ
- ハザードマップ

赤ちゃんやペットなどあなたの家族が必要なものを用意してください

- めがね、コンタクトレンズ
- 粉ミルク、液体ミルク、離乳食、紙おむつ、おしりふき
- ナプキン
- 介護食、大人用おむつ
- 食物アレルギーがある人が食べられるもの
- ペットフード、リード、ケージ

災害が起きた後の生活のために用意しておくもの

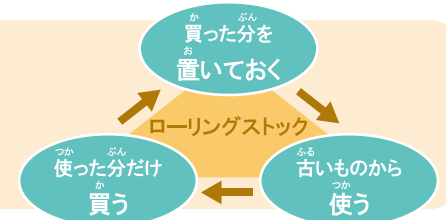
災害が起きてから何日かはものが買えないかもしれません。水や食べ物が届くまで生活をすることができるよう用意してください。

- 飲み水(1人で1日に3ℓが必要)
- 非常食(アルファ化米、缶詰、レトルト食品など)
- 毛布、寝袋
- ブルーシート(下に敷いたり、雨よけに使う)
- スリッパ
- マウスウォッシュ(口の中をゆすぐ)、ドライシャンプー(水がなくても髪を洗える)
- ドライバー、スコップ、パール、ジャッキ、のこぎり
- 携帯トイレ(トイレが使えないときに役立つ)、トイレトイレットペーパー
- カセットコンロ、代わりのガスボンベ
- 紙の皿、紙コップ、割りばし
- キッチン用ラップ
- ゴミ袋
- 給水用ポリタンク(水をためておくタンク)



「ローリングストック」をしてください

用意しておく食べもの・飲み水などは保存期限(安全に食べられる期限)が切れる前に使ってその分だけ新しく買っていつも同じだけの量を持っていることを「ローリングストック」といいます。決まったときに古いものから使って食べものや水を無駄にしないで必要なときに期限切れにならないようにしてください。



局地的大雨(ゲリラ豪雨)から身を守るために

この頃急に大きくなる積乱雲(雨をふらす雲)によるゲリラ豪雨(一部の場所にとつぜんたくさんの雨がふること)によりたいへんな事故が起っています。このような事故は雨による災害への警戒・注意を知らせる大雨警報・注意報が出ないくらいの雨でも起こることがあります。川の中や川の近くにいたときは注意してください。

もしこんなところにいたら



川などでの釣りや水遊び



川の近くでのキャンプ、バーベキュー



河川や下水道の工事現場

総雨量(ふり始めてから止むまでの全部の雨の量)が少なくとも10分ぐらいでたいへんな被害になることがあります。

天気が急に変わることがあるので危ないと思ったらすぐに安全なところに逃げてください

気をつけること	こんなときは気をつけてください
天気予報	「大気の状態が不安定」「雷」「天気の急変」などと言っているとき
警報や注意報	雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ているとき
気象レーダーなどの観測情報(携帯電話などで知ることができる)	周りや川の上の方で雨がふっているとき
空のようす	「急に真っ黒な雲が近づいてきた」「雷の音が聞こえる」「雷が見えた」とき
川のようす	「水の量が増えてきた」「濁ってきた」「木や落ち葉が流れてきた」とき
看板	「危険区域には立ち入らない」などの表現があるとき

危ないと思ったらすぐに逃げてください!

遊んでいる子供や工事をしている人は周りが変わったことに気づきにくいため保護者や監督者は危ないと思ったらすぐに逃げるように言ってください。